

2019. 12. 18 <計1枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

## 国際平和ミュージアム 第128回ミニ企画展示

パネル・写真展：わたしを ここから だして

ーオリンピックの「治安対策」の名の下に入管収容所で苦しむクルド難民の現在<sup>いま</sup>ー

会期：2020年1月13日（月・祝）～2月8日（土）

国際平和ミュージアムは、下記の日程で第128回ミニ企画展示として、パネル・写真展：わたしをここから だしてーオリンピックの「治安対策」の名の下に入管収容所で苦しむクルド難民の現在（いま）ーを開催いたします。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備が進むなか、「治安対策」の名の下に、難民申請者など帰国できない事情を抱えた人たちが、次々と出入国在留管理庁（入管）の収容所に拘束されています。

入管による長期収容と度重なる帰国の強要によって収容された人々は心身を病み、必要な医療も受けられず、自殺や病死、餓死さえも発生しています。追い詰められた収容者たちは収容所からの解放を求め、ハンガーストライキなど、命を賭した行動を始めました。

本展では、トルコから日本に逃れてきたクルド難民のケースを中心に、今、入管の収容所で何が起きているのか、収容者の証言や新聞報道、写真を交えながら伝えます。

また、クルド人写真家のレフィック・テキン氏が撮影した、トルコにおけるクルド人の迫害に関する写真も展示します。写真や映像を通して、クルド人がどのような境遇から逃れてきたのかを知りきっかけになればと考えています。

### 記

会 期：2020年1月13日（月・祝）～2月8日（土）

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム2階 常設展示室内

開館時間：9:30～16:30（入館は16:00まで）

休館日：日曜日、1月14日（火）

見学資料費：大人400円（350円）、中高生300円（250円）、小学生200円（150円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※ 地階受付で見学資料費をお支払い下さい。

主 催：クルド人難民Mさんを支援する会

共 催：立命館大学国際平和ミュージアム

以上

### ●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム 担当：阿野

TEL. 075-465-8151

<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/> ※12月22日から1月5日までは休館日です。